

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第7回行財政改革推進委員会
開 催 日 時	平成27年3月15日（日）10時00分から11時25分まで
開 催 場 所	吉川市役所 201会議室
出 席 委 員 氏 名	大塚祚保委員長、間宮玲子副委員長、伊藤博章委員
欠 席 委 員 氏 名	なし
担当課職員職氏名	政策室副室長 中村詠子、政策室行政改革担当主査 櫻井敬雄 政策室行政改革担当主任 松井 勉
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 第4次よしかわ行財政改革大綱策定について （1）パブリック・コメントの結果について （2）第4次よしかわ行財政改革大綱（最終案）について （3）今後について 資料：「第4次よしかわ行財政改革大綱」案 4 その他 5 閉会 すべて公開
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	次第、座席表、議案書、参考資料
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	間宮副委員長、伊藤委員
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
1 開 会 司会（櫻井主査）	<p>————— 《開 会》 —————</p> <p>ただ今より、平成26年度第7回行財政改革推進委員会を開会する。</p>
大塚委員長	<p>————— 《あいさつ》 —————</p> <p>あっという間に日にちが経過し年度末になってきた。市長選挙があり、市長が変わったようだが、今年度の最後となる委員会であるため、本日もよろしく願います。</p>
司会（櫻井主査）	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>それでは、これより議事に入る。議事の進行については、大塚委員長に願います。</p>
大塚委員長	<p>それでは、議事「第4次よしかわ行財政改革大綱策定」について、資料に沿って検討していく。議事（1）パブリック・コメントの結果について、事務局より報告をお願いします。</p>
松井主任	<p>1月19日（月）から2月18日（水）までの1か月間に渡り、パブリック・コメントを実施したが、残念ながら0件だった。</p>
大塚委員長	<p>本日の資料を見てみると、後段に改革項目が入っていないようだが、パブリック・コメントでは改革項目を出しながら、大綱策定の段階ではずしても問題はないのか。</p>
松井主任	<p>「吉川市市民参画条例」を所管している市民参加推進課に確認したところ、今後、パブリック・コメントを反映して、改革項目を出すのであれば、問題ないということだった。</p>
大塚委員長	<p>大綱の柱立ての部分は、市長の考えと相違はないのか。</p>
松井主任	<p>今回の資料は市長に見てもらっている。方向性は問題ないようである。</p>
大塚委員長	<p>今後、改訂ということもあるかもしれない。改革項目にも指示が出てくるだろう。</p>
松井主任	<p>まだ市長の意向を十分に確認はしていないが、選挙公報の個別事業を見てみると、新たな改革項目が入ってくる可能性は十分にある。</p>

伊藤委員	パブリック・コメントの資料を拝見した人数や市ホームページを見た人数はどのくらいいたのか。
松井主任	資料を閲覧した人数は分からないが、市ホームページを見た人数は100名に満たない数値であった。
伊藤委員	このくらいのボリュームであれば、読んでも苦にならない量だから、意見があるのかと思っていた。他の課のパブリック・コメントでは、資料が膨大で、資料を見ているだけで嫌になってしまうものもあった。一般の市民が意見を出しやすいように、資料の出し方の工夫も必要であると思う。
大塚委員長	<p>行政改革というテーマは、組織内部の内容であり、市民に直接というより間接的に影響があるものだから、市民の関心も低いのかもかもしれない。</p> <p>それでは、(1) のパブリック・コメントの結果はこれくらいにして、次の議事(2) 第4次よしかわ行財政改革大綱(最終案)について、事務局より報告をお願いします。</p>
松井主任	<p>2月22日執行の市長選挙で市長が変わったことに伴い、当初予定していた3月議会は、時期がずれ込み、今月末に開始することとなった。予算も通常予算ではなく、義務的経費や経常に要する経費を中心とした骨格予算を編成し、政策的経費や新規・拡充に当たる事業は除いている。政策的・投資的経費の計上は、今後の補正予算にて行うこととなる。</p> <p>そのため、今回は、前段の大綱の体系と柱立てまでを第1版として策定し、後段の改革項目については、今後、市長の意向を踏まえて、補正予算後に策定していく見込みである。</p> <p>新たに、参考資料として、策定の経緯、策定の体制、用語説明を加えている。</p>
大塚委員長	これまで1年間に渡り、会議の傍聴可、議事録の公開、会議の土日の開催など、市民に関わってもらいたいと思い、市民参加をしやすくした取り組みを行ってきた。これらの内容を本文に入れてはどうか。また、市長が委員を委嘱するにあたり、委員を公募したことも入れてはどうか。
中村副室長	17頁の策定の体制のなかの説明書きのところに入れていき

	たい。
伊藤委員	市長は総合振興計画を変えるつもりはあるのか。
中村副室長	今のところ基本構想は変更せず、踏襲するつもりであると聞いている。
間宮副委員長	市民参加の取り組みをぜひ入れてほしい。確かに、行財政改革大綱（案）を見て、トータル的な意見を出すのは難しいのかもしれない。
大塚委員長	これまで委員会を重ねるたびに、内容が行政用語から市民用語に変わっていったと思う。第1版として策定する大綱に改革項目を除くのであれば、パブリック・コメント時の内容と策定内容が異なるため、変更した理由を入れた方がよい。用語説明の後でも柱立ての後でもどこでも良いが、どこに入れた方がいいか。
中村副室長	目次にも入れることができる。本編を改訂する時に、修正が簡易であり、表紙を開いてから目に留まる場所である。
委員	表記方法は事務局に任せる。
大塚委員長	次に、議事（3）の今後について、事務局より報告をお願いします。
松井主任	来年度の当委員会の開催については、現在、骨格予算を編成しているため、予算計上もしていない。そのため、来年度の開催回数等は未定であるが、補正予算が可決されてから、内部で改革項目出しを含めた調整を行い、当委員会で議論していくこととなる。その後、もう一度、パブリック・コメントを行い、改革項目を含めた第2版の策定を、予定では8月から9月頃に行っていく。
間宮副委員長	出前講座のように、各自治会への説明も今後できれば市民の理解も高まると思う。
中村副室長	各自治会の定例会などに出向くことなども考えられる。
大塚委員長	次回の当委員会は、改革項目の議論からとなるのか。

松井主任	市長の考えを受けて、大綱の体系や柱立てを変更する必要があるのであれば、前段の部分から議論することとなる。そうでなければ、改革項目の議論からとなる。
大塚委員長	市長の意向を踏まえた項目も入ってくるのか。
松井主任	選挙公報を見る限り、新たな改革項目が入ってくる可能性は十分にある。
大塚委員長	議会との関係はどうなるのか。行財政改革について、議会の議題にあがることもあるのか。
中村副室長	「資料の送付」という形式の報告を行う。議案であがることはない。
大塚委員長	本日の議題については、以上となるが、他に何かあるか。
松井主任	<p>本日の委員会をもって、今年度の議論は終了し、市長決裁により大綱を策定していくこととなる。このメンバーでの任期は、あと1年あるため、来年度も改革項目を含めた議論をお願いしたい。</p> <p style="text-align: center;">————— 《閉 会》 —————</p>
司会（櫻井主査）	以上で本日の委員会の議事を終了とする。これをもって、平成26年度第7回行財政改革推進委員会を閉会する。
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。 平成27年3月25日</p> <p style="text-align: center;">署名委員（間宮副委員長 自署） 署名委員（伊藤委員 自署）</p>	